

人材育成コース ガイダンス

9:30-10:00

令和4年度 相談支援従事者指導者養成研修
日時：2022年6月30日（2日目）

ガイダンスの内容

1. 人材育成コースの目的と内容
2. 6月30日の振り返りと7月1日の目的と内容
3. 実地教育がなぜ重要なのか？

人材育成コースの目的と内容

業務実施地域における実地教育（OJT）を考える2日間

1. スーパービジョン等の知識と技術を確認して、どのように振舞うかを学ぶ（6月30日、7月1日）
2. どのような実地教育の形態があるのかを学ぶ（7月1日）
3. 実際に業務実施地域で行う実地教育の目標等を考える（7月1日）
4. 最終的に業務実施地域の実地教育を活性化させる一助になれば・・・。

人材育成コースの全体像

指導者研修2日目、3日目
6月30日、7月1日

実地教育の形態やどのように振舞うかを学ぶ

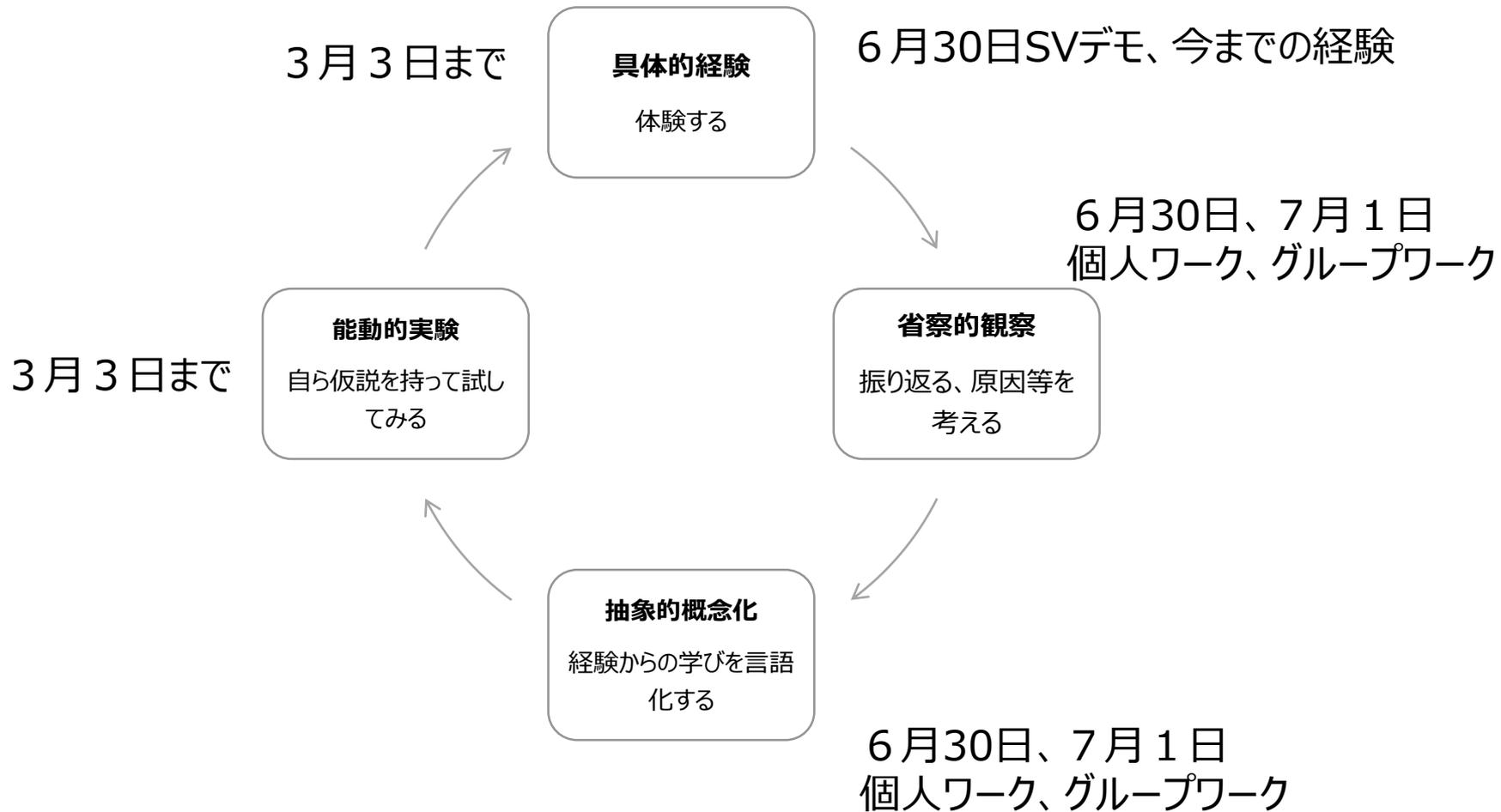
インターバル期間
2022年7月～2023年3月

学んだことを活かして、実地教育を
実践する

指導者研修4日目
2023年3月3日

実践した実地教育の振り返りと今後について

経験学習モデル



皆さん、どこかで見たことのある図だと思いますが、この経験学習モデルが本研修の構造の基盤になっています。

6月30日のスケジュール

時間	内容
9:30-10:00	コースガイダンス
10:00-11:20	講義 スーパービジョンに関する講義
11:20-11:30	休憩
11:30-12:00	演習 1 ミニ演習【2人1組、ブレイク】
12:00-13:00	昼休憩
13:00-14:40	演習 2 個別スーパービジョンの演習【グループ、ブレイク】
14:40-14:50	休憩
14:50-16:00	演習 3 個別スーパービジョンの演習【グループ、ブレイク】
16:00-16:30	振り返り
16:30-16:40	休憩
16:40-17:00	全体まとめ

7月1日のスケジュール

時間	内容
9:10-10:00	講義 ① コースガイダンス ② 実地教育をどのように活性化させるか
10:00-10:10	休憩
10:10-12:00	演習 4 SVの準備期に関して【グループ、ブレイク】
12:00-13:00	休憩
13:00-14:00	演習 5 SVの振り返り期に関して【グループ、ブレイク】
14:00-14:50	演習 6 3月までの計画作成と共有【グループ、ブレイク】
14:50-15:00	全体振り返り

実地教育とは？

「実践知を養い熟達化するための実務・実践場面での取り組みについて、本研修では実地教育（OJT）と定義する」

実践知とは？

熟達者（ある領域の長い経験を通して、高いレベルのパフォーマンスを発揮できる段階に達した人）がもつ実践に関する知性

熟達化とは？

実践知を獲得する学習過程

令和元年度主任相談支援専門員養成研修「人材育成の意義と必要性」より

業務実施地域における実地教育の例

■内容

- 地域の相談員による電話やメール等の相談への対応
- 地域の相談員が行う会議や面談等への同行
- 委託・特定相談支援事業所に訪問して相談を受ける
- スーパービジョン（グループスーパービジョン含む）の実施
- 事例検討会の開催
- 研修会の開催

■対象

- 同じ事業所の相談支援専門員
- 他の事業所の相談支援専門員

なぜ、実地教育が重要なのか？

①社会福祉実践の特徴

正答を一つに定めることが難しい（正解か検証困難な）業務

②経験を経験で終わらせないために・・・

実践知の獲得には個人差が生じると言われている。この要因としては、態度、省察、批判的思考があげられている。実地教育を行うことで、他者が上記の3点をサポートすることが可能になる。

皆さんはどのように実践で役立つ知識や技術を獲得してきましたか？

モチベーションが高まる構造

モチベーションに影響する要因としては、価値、予期、環境があげられます。

□価値

- 達成感を味わう（達成価値）
- 活動そのものに価値を見出す（内発的価値）
- 将来に役立つ（道具的価値）

□予期（期待）

- 目標や結果を「達成できる」という自分なりの予測
- 適切な難易度の課題が予期を高める

□環境

本研修のモチベーションを考える

教授者が3つの要因を刺激することが大切です。

□価値

- 実地教育の浸透、活性化は相談支援専門員の定着をうながし、それぞれの持っている能力を発揮するために有効。
- 障害児者の生活の質向上に寄与することができる。

□予期

- 誰もが初めは初心者。スーパービジョンを体験して、失敗したことや成功したことを共有するところから始めましょう。

□環境

- 各グループに1人、演習講師が配置されます。
- グループの構成員の経験値は多様です。